

## 第7次中期計画のための考察資料(抜粋)

～労働人口減少下での持続可能なサービスに向けて～

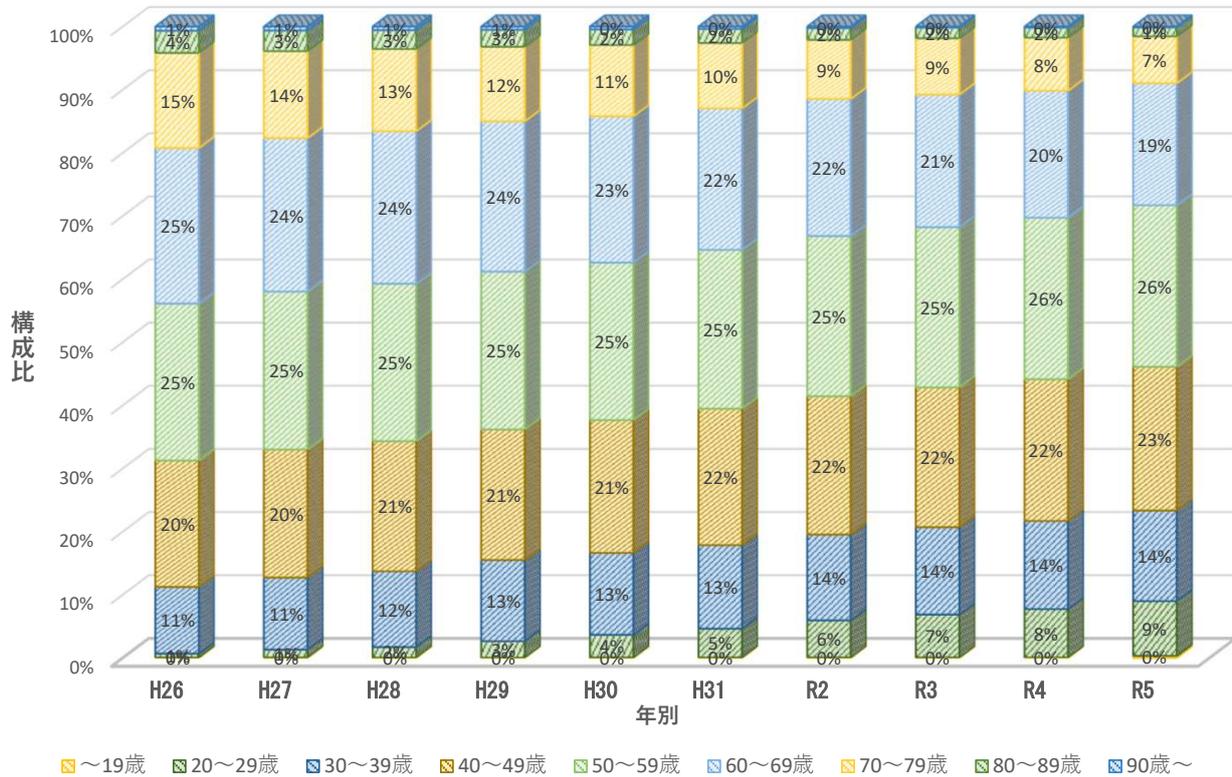
## 会員数の推移と年齢構成

### 現状分析（平成26年～令和5年）その1

「会員の年齢構成比の10年間の推移」

- ・上の棒グラフは、棒の下側が20代、30代の会員の割合
- ・一番上段は90歳以上を示している
- ・下の一覧表は、事業所数、会員数と年齢構成の実数と割合
- ・統計はいずれも年度末である3月末のデータ
- ・平成26年度は20代が1%、30代が11%、60代が25%、70代が15%
- ・令和5年度は20代が9%、30代が14%、60代が19%、70代が7%
- ・若年層の割合が高くなり、高齢層の割合が減少
- ・中間の40代から50代の割合の変化はあまりない

## 年齢構成比の推移



	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5
事業所数	2,187	2,104	2,045	1,967	1,881	1,817	1,725	1,635	1,562	1,473
会員数	11,894	11,781	11,544	11,487	10,951	10,753	10,605	10,111	9,715	9,473
～19歳	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
20～29歳	1%	1%	2%	3%	4%	5%	6%	7%	8%	9%
30～39歳	11%	11%	12%	13%	13%	13%	14%	14%	14%	14%
40～49歳	20%	20%	21%	21%	21%	22%	22%	22%	22%	23%
50～59歳	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%	26%	26%
60～69歳	25%	24%	24%	24%	23%	22%	22%	21%	20%	19%
70～79歳	15%	14%	13%	12%	11%	10%	9%	9%	8%	7%
80～89歳	4%	3%	3%	3%	2%	2%	2%	2%	2%	1%
90歳～	1%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
～19歳	5	5	4	4	4	4	4	4	5	30
20～29歳	76	149	194	299	395	494	625	689	746	821
30～39歳	1,256	1,344	1,384	1,476	1,422	1,422	1,443	1,401	1,356	1,360
40～49歳	2,380	2,390	2,381	2,378	2,303	2,324	2,323	2,238	2,181	2,156
50～59歳	2,957	2,948	2,879	2,871	2,734	2,706	2,691	2,566	2,486	2,425
60～69歳	2,932	2,863	2,789	2,735	2,537	2,409	2,303	2,123	1,954	1,830
70～79歳	1,793	1,623	1,503	1,358	1,236	1,116	993	903	817	704
80～89歳	418	385	345	308	270	237	197	171	154	135
90歳～	77	74	65	58	50	41	26	16	16	12

## 現状分析（平成26年～令和5年）その2

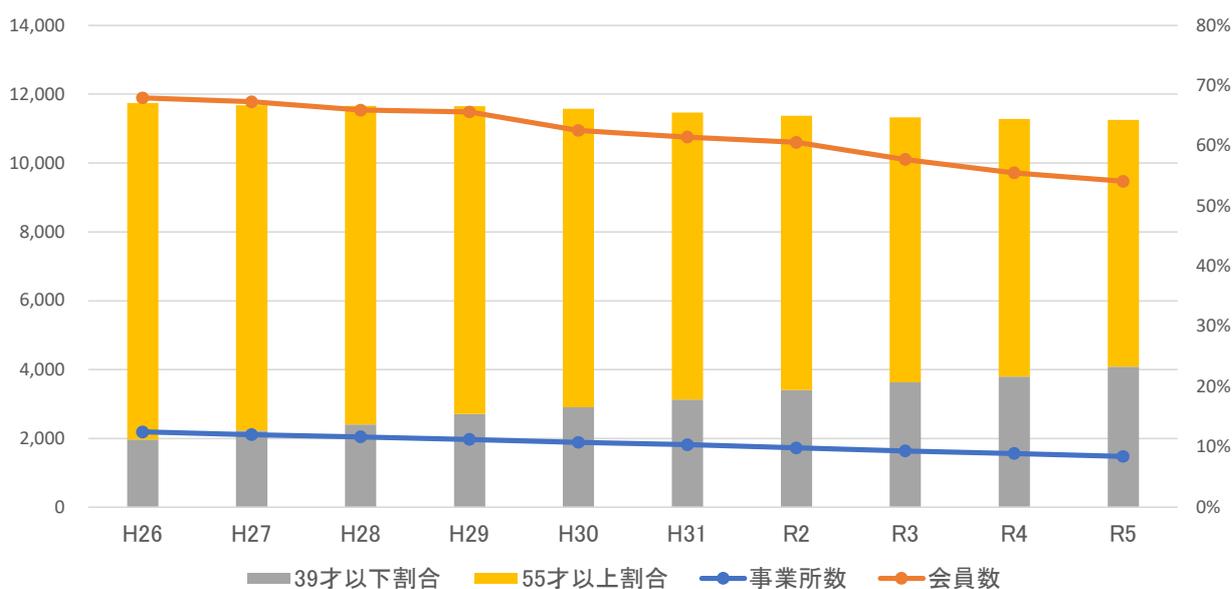
「会員・事業所数と年齢構成の10年間の推移」と「長崎市の人口と労働人口の推移」

- ・会員数、事業所数と年齢構成の推移をより分かりやすく示したもの
- ・10年間であまり変化のない40～54才の層を省き、デフォルメ
- ・棒グラフのグレー部分は39才以下を、オレンジ部分は55才以上の割合
- ・折れ線グラフの青色は事業所数、赤色は会員数
- ・年齢構成では、平成26年度は39才以下が11%、55才以上が56%
- ・令和5年度は39才以下が23%と倍増し、55才以上が41%と15%減少
- ・事業所数は、2,187から1,473と約33%減少
- ・会員は1万1千894人から9,473人と約20%減少
- ・会員の減少率は、事業所よりも緩やか
- ・長崎市の人口は10年間で9%、労働人口は18%減少で会員の減少率20%と近い値
- ・ここ10年間で高齢層の個人経営や小規模事業所が減少
- ・介護や医療福祉関係など比較的規模の大きな事業所が若年層を多く雇用し、若年層が増加

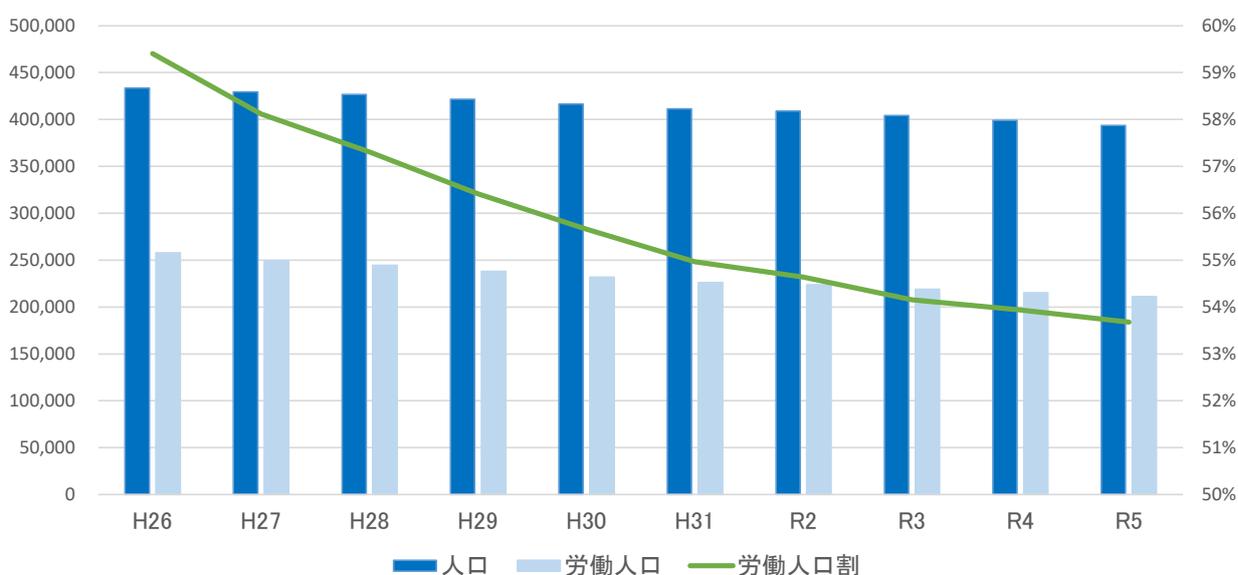
### 10年間で特に変化のあった項目 一覧

	平成26年度	令和5年度	増減
39才以下	11%	23%	+12%
55才以上	56%	41%	-15%
事業所数	2,187	1,473	-33%
会員数	11,894	9,473	-20%
1人(事業所)	37.2%	32.4%	-4.8%
2人	22.4%	20.7%	-1.4%
5～9人	12.6%	15.9%	+3.3%
10～19人	6.2%	7.7%	+1.5%
20～49人	3.9%	4.8%	+0.9%
サービス業	46.0%	48.7%	+2.7%
卸売・小売業・飲食店	29.3%	25.8%	-3.5%
建設業	15.4%	17.9%	+2.5%

## 会員・事業所数と年齢構成の推移



## 長崎市の人口と労働人口の推移



10年間

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	増減
事業所数	2,187	2,104	2,045	1,967	1,881	1,817	1,725	1,635	1,562	1,473	-33%
会員数	11,894	11,781	11,544	11,487	10,951	10,753	10,605	10,111	9,715	9,473	-20%
39才以下	11%	13%	14%	15%	17%	18%	20%	21%	22%	23%	+12%
55才以上	56%	54%	53%	51%	50%	48%	46%	44%	43%	41%	-15%
39才以下	1,337	1,498	1,582	1,779	1,821	1,920	2,068	2,094	2,107	2,211	+65%
55才以上	6,647	6,367	6,114	5,872	5,426	5,122	4,829	4,456	4,159	3,882	-42%

\* センター登録事業所数、会員数は毎年度3月末日現在

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	増減
人口	433,514	429,508	426,578	421,612	416,419	411,421	409,118	403,950	398,836	393,597	-9%
労働人口	257,536	249,601	244,460	237,846	231,784	226,132	223,535	218,738	215,107	211,278	-18%
労働人口割	59%	58%	57%	56%	56%	55%	55%	54%	54%	54%	-5%

\* 人口・労働人口は10月1日現在、労働人口：15～64才

## 長崎市の将来人口と労働人口

### 将来予測【令和7（2025）年 ⇒ 令和12（2030）年】

長崎市の将来人口をもとに労働人口を予測し、会員数を予測

- ・ 令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した推計人口をもとに、長崎市の人口ピラミッドを作成
- ・ 上の図は、第7次が始まる2025年で人口は38万1千884人、労働人口は、20万4千787人と予測
- ・ 下の図は5年後の2030年で人口は、36万2千388人、労働人口は19万1千33人と予測
- ・ 下段の一覧表は、人口、労働人口、労働人口の割合を抜粋
- ・ 人口についての5年間の減少率は、マイナス5%
- ・ 労働人口は、マイナス7%
- ・ 人口に占める労働人口の割合は、54%から53%へと1%減少すると予測
- ・ 今後5年間の人口減少はこれまでと同様、非常に厳しく、5年前の第6次策定時の状況と大きく変わらない

長崎市

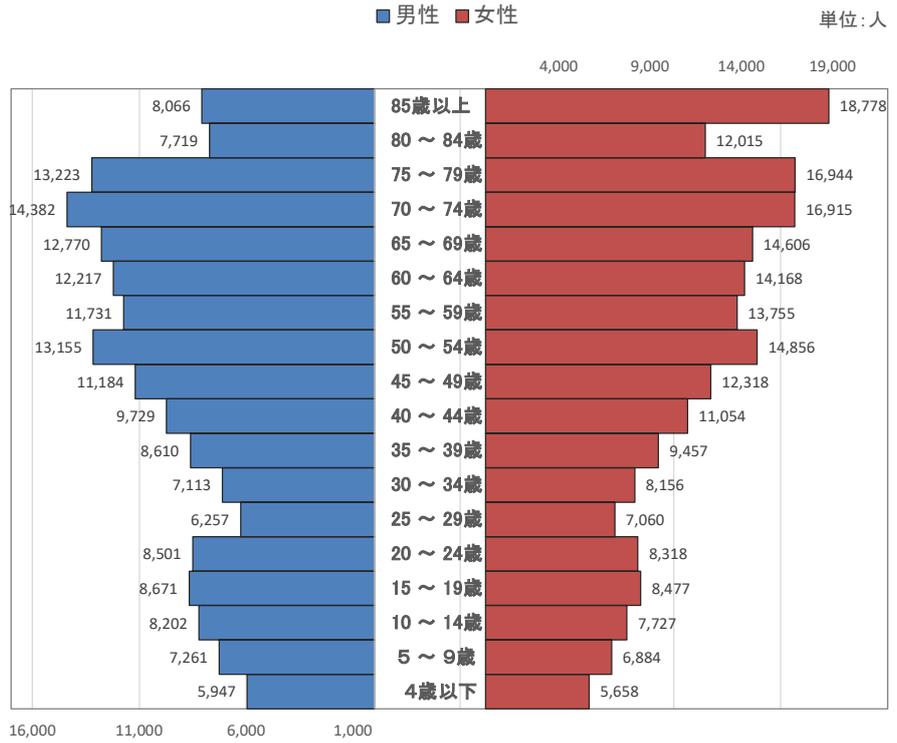
2025年の男女別推計人口

年齢	男性	女性
4歳以下	5,947	5,658
5～9歳	7,261	6,884
10～14歳	8,202	7,727
15～19歳	8,671	8,477
20～24歳	8,501	8,318
25～29歳	6,257	7,060
30～34歳	7,113	8,156
35～39歳	8,610	9,457
40～44歳	9,729	11,054
45～49歳	11,184	12,318
50～54歳	13,155	14,856
55～59歳	11,731	13,755
60～64歳	12,217	14,168
65～69歳	12,770	14,606
70～74歳	14,382	16,915
75～79歳	13,223	16,944
80～84歳	7,719	12,015
85歳以上	8,066	18,778

0～14歳	41,679
15～64歳	204,787
65歳以上	135,418

計 381,884 (単位:人)

2025年の人口ピラミッド



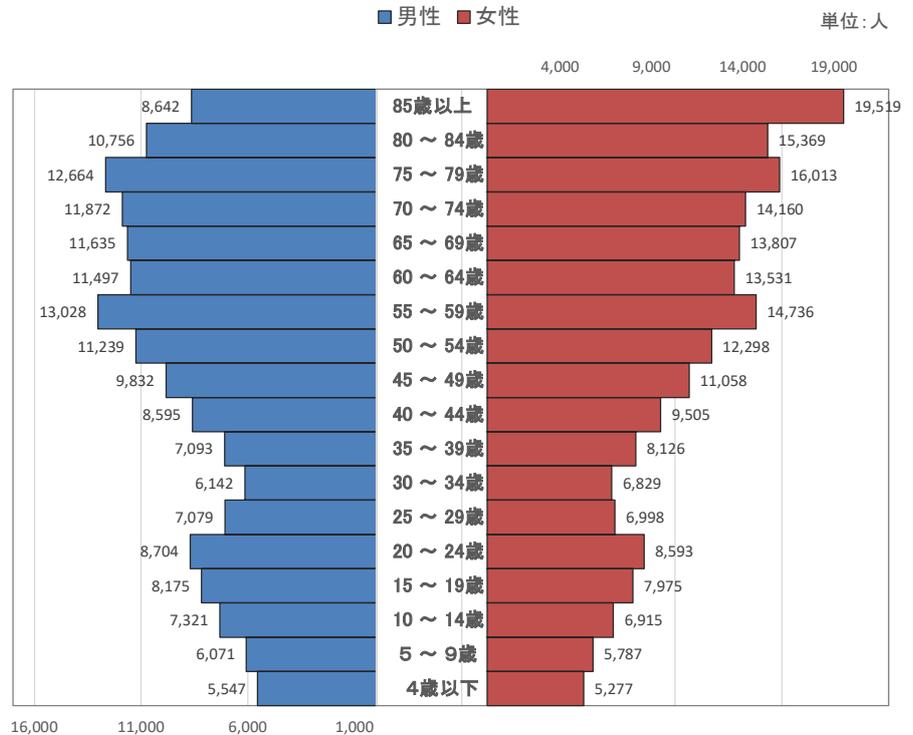
2030年の男女別推計人口

年齢	男性	女性
4歳以下	5,547	5,277
5～9歳	6,071	5,787
10～14歳	7,321	6,915
15～19歳	8,175	7,975
20～24歳	8,704	8,593
25～29歳	7,079	6,998
30～34歳	6,142	6,829
35～39歳	7,093	8,126
40～44歳	8,595	9,505
45～49歳	9,832	11,058
50～54歳	11,239	12,298
55～59歳	13,028	14,736
60～64歳	11,497	13,531
65～69歳	11,635	13,807
70～74歳	11,872	14,160
75～79歳	12,664	16,013
80～84歳	10,756	15,369
85歳以上	8,642	19,519

0～14歳	36,918
15～64歳	191,033
65歳以上	134,437

計 362,388 (単位:人)

2030年の人口ピラミッド



国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」より抜粋

	2020年	2025年	2030年	5年減少率	10年減少率
人口	409,118	381,884	362,388	-5%	-11%
労働人口	223,535	204,787	191,033	-7%	-14%
労働割合	55%	54%	53%	-1%	-2%

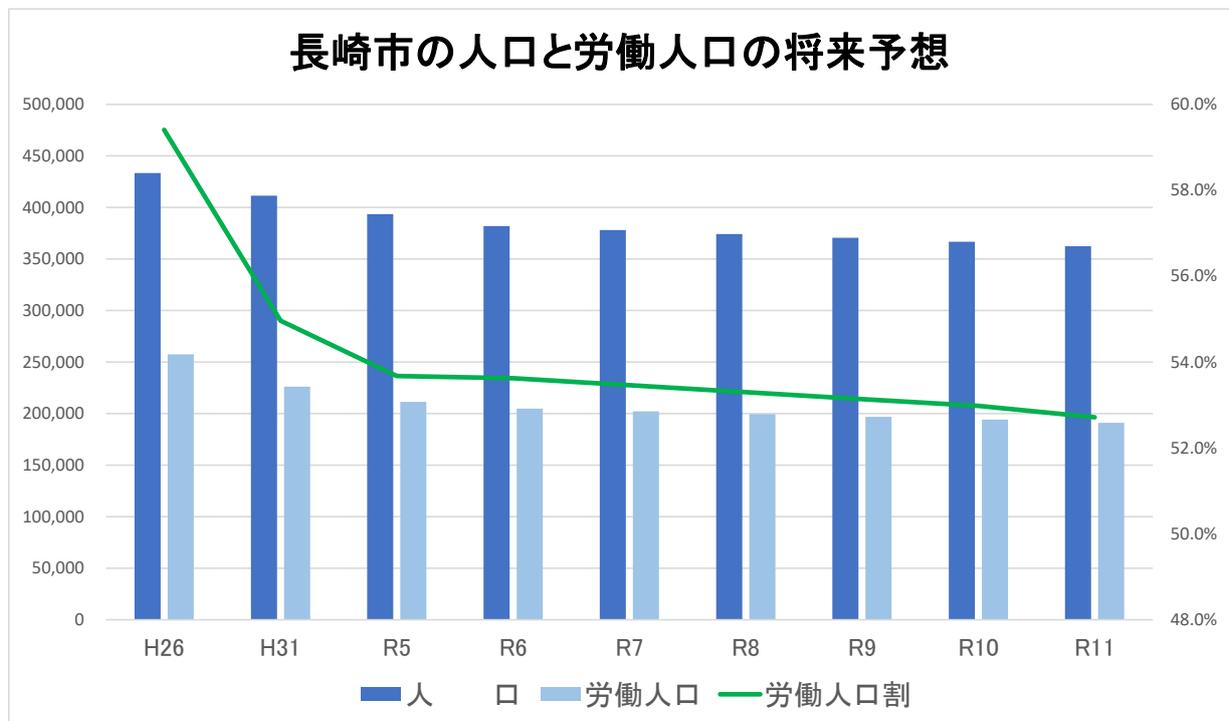
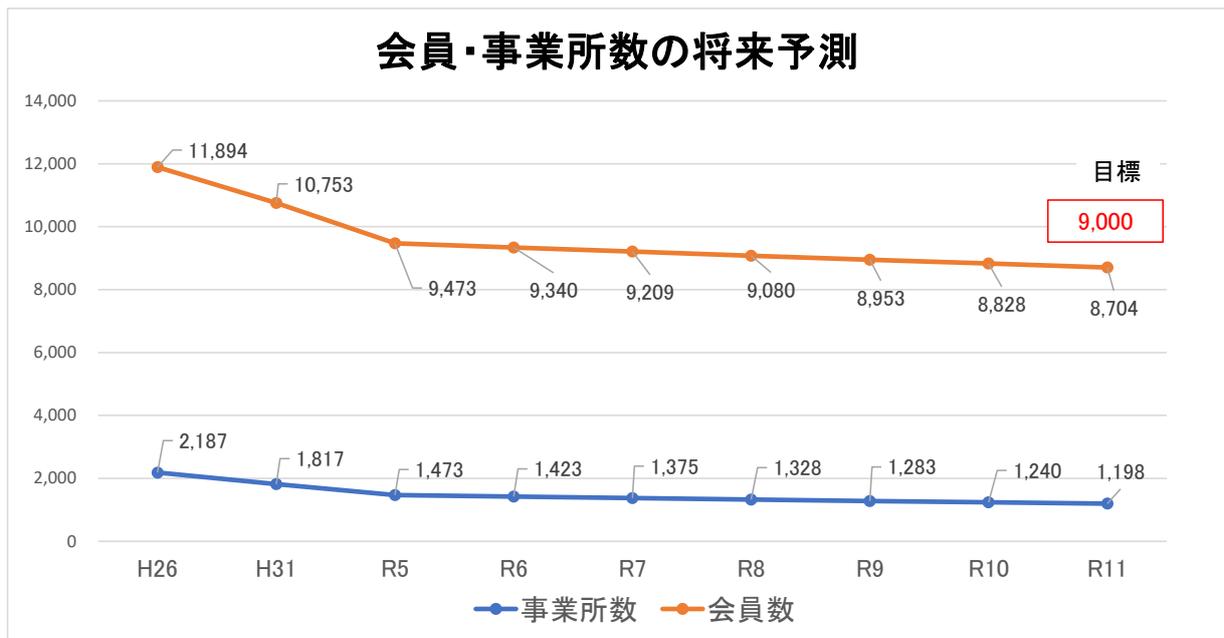
## 会員・事業所数の将来予測

【令和 7 (2025) 年 ⇒ 令和 11 (2029) 年】 \* 第 7 次中期計画期間

- ・上のグラフは、会員・事業所数の将来予測
- ・下のグラフは、長崎市の人口と労働人口の将来予測
- ・両グラフとも参考に平成 26 年、31 年の 5 年毎の実数を参考掲載
- ・長崎市の令和 7 年の人口は 38 万 1 千 884 人、労働人口は、20 万 4 千 787 人と予測
- ・5 年後の令和 11 年の人口は、36 万 2 千 388 人、労働人口は 19 万 1 千 33 人と予測
- ・人口についての 5 年間の減少率は、マイナス 5 %
- ・労働人口は、マイナス 7 %
- ・人口に占める労働人口の割合は、53.6%から 52.7%へと 0.9%減少
- ・下段の一覧表は、人口、労働人口、労働人口の割合
- ・事業所の令和 6 年以降の減少率は、コロナ禍前の 5 年間の率 17%で予測
- ・会員の令和 6 年以降の減少率は、労働人口の減少率 7%で予測
- ・令和 11 年の会員数は 8,704 人と予測、目標値を 9,000 人としたい
- ・今後 5 年間の人口減少はこれまでと同様、非常に厳しい
- ・5 年前の第 6 次策定時の状況と大きく変わらない

(参考)

	R2	R7	R12			
	2020 年	2025 年	2030 年	過去 5 年率	将来 5 年率	10 年間
人口	409,118	381,884	362,388	-7%	-5%	-11%
労働人口	223,535	204,787	191,033	-8%	-7%	-14%
労人割合	55%	54%	53%	-1%	-1%	-2%



(R7～R11) 5年間

	H26	H31	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	増減
事業所数	2,187	1,817	1,473	1,423	1,375	1,328	1,283	1,240	1,198	-17%
会員数	11,894	10,753	9,473	9,340	9,209	9,080	8,953	8,828	8,704	-7%

\* センター加入事業所・会員数は毎年3月末、R6以降の事業所数の将来減少率は、コロナ禍前の5年間の率  
 会員数は労働人口の減少率で推計

(R7～R11) 5年間

	H26	H31	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	増減
人口	433,514	411,421	393,597	381,884	378,065	374,284	370,541	366,835	362,388	-5%
労働人口	257,536	226,132	211,278	204,787	202,124	199,496	196,902	194,342	191,033	-7%
労働人口割	59.4%	55%	53.7%	53.6%	53.5%	53.3%	53.1%	53.0%	52.7%	-1%

\* 人口・労働人口はH26、H31、R5は10月1日現在、労働人口：15～64才  
 R6,R11は国立社会保障・人口問題研究所の公表値、R7～R10は推計値